

アイリスLetter



2015年4月30日発行
第1号
広島女学院中学高等学校

保護者の皆様へ

学校の花壇では暖かい日差しの中で沢山の花々が美しく咲き、ハナミズキが白く美しい花を咲かせています。また中学グラウンドのフェンス沿いにはシバザクラが可憐な花を咲かせて、紫の敷物の様に延びています。4月に入ってから良い天候に恵まれず、新学期が始まったばかりの生徒達は足元の悪い中での通学が続き気の毒でしたが、ようやく晴天の日々となり、明るい日差しの中で木々の緑も輝きを放ち出した感じがします。

中学・高等学校の新入生を迎えて3週間が過ぎ、早速最初の行事である中学1年生の学年合宿、高校1年生の進路合宿、その他の学年の春の遠足が行われました。この1年間を共に歩むHRの仲間や先生方と交わりを深める良い機会になったと思います。その中で、早くそれぞれの生徒が自分のペースをつかんで歩んでほしいと願っています。

さて、今年の春休みは昨年度から始まったSGH（スーパーグローバルハイスクール）の関係で、多くの海外交流が行なわれました。これまで継続的に行われてきた米マウントユニオン大学での第7回短期研修（現高1、高2）に加えて、アジアへの初めての生徒派遣となる韓国研修（現中3、高3）、とカンボジア研修（現高2）が行われました。また、4月早々にはモントレー国際大学院主催の各国（ロシア・アメリカ・日本）高校生による軍縮のための「クリティカルイシューフォーラム」が、原爆投下70年を記念して、会場をこれまでのアメリカから広島に移し、広島女学院のゲーンズホールと国際会議場で行われました。また、4月26日には、ニューヨークで行われるNPT（核不拡散条約）再検討会議に向けて、高校生特使として女学院から4名の高校生（派遣計10名）が日本を飛び立ちました。現地では国連本部での会議傍聴、現地高校生との交流やプレゼンテーションが予定されています。

女学院の創立者・砂本貞吉先生は、国際的な航海士となる夢をもって広島から世界を目指し、予期せぬ出会いを経て牧師となり、その使命を果たすべく、広島に於ける女子教育に一石を投じることとなる広島女学会を創設しました。またN. B. ゲーンズ先生はアメリカの地からこの教育の働きを引き継ぐ為に神の召命によって単身で来日しました。広島女学院はこのような確固とした神からの使命感とグローバルな世界観を持つとともに、社会と隣人の為に心を砕き奉仕した創立者によって創設され、教育を進めてきました。この精神を受け継ぎ、世界的な視野で新たな意思をもった生徒達が育つことを願いながら今年度も教育活動を進めて行きたいと思っています。どうか保護者の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

聖書の言葉

「神は御心のままにあなた方の内に働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。」
新約聖書フィリピの信徒への手紙2章13節（新改訳）

（校長）



イースター礼拝とイースター

「話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。……一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。」

(ルカによる福音書 24章15～16節、30～31節)

「イースター(復活祭)」は、クリスマスとならぶキリスト教の大切な記念日です。私たち人間を救うために、自分を犠牲にして十字架にかかり、死んで葬られたイエス・キリストが“復活”したことをお祝いする礼拝をもちます。太陰暦で定められたため、現在の太陽暦では3月末から4月にかけて日程が動きます。今年のイースターは、4月5日(日)でした。女学院では毎年1学期の始業礼拝とともにイースター礼拝を捧げます。今年は日本キリスト教団広島流川教会向井希夫牧師より、次のようなメッセージをいただきました。

「存在するけれど、目に見えないものはどんなもの？」という質問に、カナダの小学6年生の子どもたちの答えは、「愛」「友情」「信頼」「正義」「信仰」「精神」などでしたが、同じ質問を日本の小学6年生にすると一番は「幽霊」、後は「電子」「原子」「酸素」「オゾン」など物質的なものをあげたそうです。

わたしたちは目に見えるものに心を支配されがちです。お金、才能、力など目に見えるものを持っているかどうかで人を評価したり、自分に対しても傲慢になったりコンプレックスを持ったりします。

「イエスの復活」とは、目に見えないものに“心の目”が開かれるできごとでした。「目に見えない大切なものがあるということを知りて生きる時、あなたの人生はもっと自由で、祝福されたものになるよ」とイエス様は呼びかけて下さっているのではないのでしょうか。

(宗教教育委員会)

生活指導部より

生活指導部では、下記の項目を本年度の重点目標としております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 挨拶をする。

いろいろな場面で、自然な挨拶が聞かれる学校にしましょう。来校されるお客様も増えています。気持ちの良い挨拶をしましょう。

2. 身だしなみを整える。

服装の乱れに注意しましょう。特にリボン、ボタン、靴下、校内靴など制服をきちんと着こなしてください。

3. 遅刻をしない。

遅刻しないためには、どのように行動すべきかを考えてください。遅刻3回で保護者に警告通知を郵送、5回で生活指導部による本人面接、8回で教頭・生活指導部による、本人・保護者面接となります。

4. 公衆道徳を守る。

登下校時の公共交通機関内や、歩行中、自転車運転中のマナーを守りましょう。社会は自分一人で生活する場ではありません。女学院の生徒として誇りを持つような行動をとりましょう。

5. インターネット、SNSなどのメディア・リテラシーを身につける。

IT環境はめまぐるしく変化していきます。「便利」「楽しい」だけでは済まないさまざまな事柄があることを認識して自分を守り、人も傷つけないようにしましょう。

(生活指導部)



Critical Issues Forum

4月2～4日に本校において第18回高校生向けの核軍縮・不拡散教育フォーラムが開催されました。核軍縮や経営などアメリカでもトップレベルを誇るミドルベリー国際大学院モントレイ校の「ジェームズ・マーティン核不拡散研究センター」が主催するこのフォーラムは、毎年カリフォルニア州・モントレイ市で開かれています。被爆70年の今年は、広島女学院との共同開催で、本校を会場に多彩なプログラムが展開されました。

もともとはアメリカとロシアの核保有大国の高校生が対象でしたが、3年前より日本の高校も招待され、本校は毎年参加しています。テーマは毎年変わり、今年度は「核兵器の非人道性」に焦点をあてたものとなりました。各学校とも3カ月の準備期間の間に事前学習を重ね、リサーチをし、プロジェクト1

(核軍縮に関する基礎知識を問うもの)を提出し、大学・大学院レベルとも言える内容に果敢にチャレンジしていき、広島でのフォーラムではその集大成となるプレゼンテーションを各校15～20分間披露しました。

アメリカからは名門私立学校を始めとする7校20名、ロシアからは2校4名、日本からは開成(東京)、横浜国際、活水(長崎)、安田女子、広島女学院の5校13名、合計34名が参加しました。また、司会はすべて本校生徒がすべて行ない、8名の生徒が立派に務めました。また、モントレイ校、本校だけでなく、外務省、広島県、広島市からも様々な面で支援して頂き、高校生向けのフォーラムとしてはレベルが高いだけでなく、プログラムのあらゆる面において高校生ではなかなか体験できないような正式な場も持つことができました。

そのプログラムは今回は本校が中心となり構築しました。まず、イベントとして、3月31日、4月1日に平和公園の碑めぐり案内、被爆者である小倉桂子さんのご講演(英語)、核廃絶街頭署名活動、グループに分かれてスカベンジャー・ハント(市内めぐり)等を実施しました。いずれも本校の4名の参加生徒と8名の司会生徒がリードして

くれました。4月2、3日は本校ゲーンズホールでのフォーラムでしたが、上述のとおり、各学校が3か月かけて学習してきたことをプレゼンテーションで発表し、質疑応答も活発に行なわれました。本校生徒の発表はNPTの問題点や核をとりまく情勢をわかりやすく解説したあと、高校生にもできる活動を提案し、その創意工夫あふれるプレゼンテーションは聴衆も、講評担当の大学の先生方も絶賛してくださいました。

4月2日の夜はジャルシティホテルを会場にウエルカムレセプションパーティーがありました。副県知事、副市長もお招きし、正式なパーティーではありませんでしたが、ホストシスターを含む本校生徒が多数を占め、またアメリカやロシアの生徒もダンスを披露したり、歌を歌ったりするなど、オフィシャルな場にありながらもとても盛り上がり、楽しいひと時となりました。

4月4日は会場を国際会議場に移し、2時間のシンポジウムを開催しました。冒頭に岸田外務大臣から激励のことばを頂き、湯崎広島県知事からもあいさつがありました。その後、外務省の専門研究員による基調講演、参加生徒の代表5名によるパネルディスカッションがありました。シンポジウムでは同時通訳がつき、聴衆として参加した本校生徒は、パネリスト生徒の発表だけでなく、同時通訳についても知ることができたようです。

最後に、今回ロシア・アメリカからやってきた生徒のために、本校の中2～高3の20のご家庭がホームステイを引き受けて下さったことは、特筆すべき事項だと思っています。たとえ1週間弱でも異国の高校生を引き受けて下さっただけでなく、安心して楽しく過ごせる場を提供して下さいました。参加高校生がリラックスして充実した時間を過ごせたのもホストファミリーの役割がとても大きかったことは、別れ際に垣間見えた多くの涙が物語っています。この場をお借りして感謝致します。ありがとうございました。

(グローバル教育推進部)

カンボジア研修

現高2の生徒10名と引率教師2名で、3月27日から4月1日の6日間のカンボジア研修に行き参りました。高1のPS学習の1年間を通してカンボジアの事を学んできましたが、実際にカンボジアの地に立ち、カンボジアの人々と出会うことで知ること、感じる事はたくさんありました。シェムリアップにある、ササースダム高等学校の訪問では、本校は広島を紹介、そして原爆の被害を通して平和の尊さを伝えました。一方、ササースダム高校の生徒は、ポルポト政権から内戦終局までの20年におよぶ過去から、今、平和を願う気持ちと国を発展させていく強い気持ちを大切にしていることを伝えてくれました。また、首都プノンペンでは、トゥールスレン博物館とキリングフィールドを視察しました。原爆の悲惨さを学んでいる私達ですが、皆が言葉を失う衝撃があります。人間の愚かさを感じ、今から新しい国を創っていくカンボジアが平和を一番にする国づくりをしてほしいと願いました。体調の心配をしながらも全員元気に帰ってきました。経済の面でもたくましく成長していくカンボジアの清新の気に触れる研修でした。



(グローバル教育推進部)

マウントユニオン大学短期研修

3月22日から4月3日まで、現高1生徒3名と現高2生徒7名でアメリカ(オハイオ州)にあるマウントユニオン大学での研修に参加しました。

広島を出発してから24時間を超える長旅でしたが、ホストファミリーが温かく迎えてくださり、旅の疲れも忘れてすぐに現地での生活に慣れたようでした。

大学では毎日、Peace-building、American Culture、Education、Japaneseなどの授業に参加したり、『平和』をテーマにしたプレゼンテーションを行いました。現在マウントユニオン大学で学んでいる本校の卒業生を中心としたボランティアの学生がキャンパス内の移動や昼食などのお世話をしてくださり、また最終日には寮の部屋に泊めてくださったりと、アメリカの大学生の実際の生活を体験することもできました。

また、Food Bankでのボランティア活動、近くの小学校で折り紙などの日本文化の紹介、高校や地元のロータリークラブでの『平和』プレゼンテーション…と毎日盛りだくさんの活動があり、あっと言う間に研修の最終日を迎えることになりました。中でも、ロータリークラブでプレゼンテーションをした際、参加者の中に戦争を体験した方がおられ、「戦争中は、アメリカも日本もひどいことをお互いにした。戦争は恐ろしいものだ。戦争を繰り返さないことが大切なんだ。」とコメントしてくださったことはとても心に深く残りました。

二週間という短い間でしたが、英語でのコミュニケーション力を向上させただけでなく、平和を願う気持ちは万国共通なのだとことを確信し、「グローバルリーダー」としての自覚の芽生えるきっかけとなった研修でした。



(グローバル教育推進部)

韓国研修

3月29日から3月31日にかけて、現中3生徒10名、現高3生徒5名と韓国で研修を行って来ました。この海外研修は、平和とともに築き上げるパートナーとして同世代の韓国の若者と交流し、お互いの違いを乗り越え、良好な日韓関係を築くためには何が必要かについて意見交換することが目的でした。

詳細は、本校ホームページ（SGH の実践）に掲載しておりますのでご覧ください。

韓国の高校生・大学生・先生方にとっても温かく迎えて頂き、本当に充実した研修となりました。昨今、日韓関係に関する諸問題が報道されていますが、韓国の高校生・大学生と行った意見交換・交流は非常に建設的かつ感動的なものでした。韓国の高校生や大学生と離れるときも、「また会いたい」「帰りたくない」といった声と涙にあふれていました。彼女らが今後日韓でともに平和を作り上げる際にリーダーシップを発揮していってくれることを期待しています。



(グローバル教育推進部)

高校音楽部第 31 回演奏会

高校音楽部は、3月29日（日）にゲーンホールに於いて第31回の演奏会を行いました。

演奏会は、3ステージ構成で行いました。第1ステージは、木下牧子のアカペラ作品を集めて「グリンピースのうた」や「鷗」などを曲や部員紹介を含めて演奏しました。第2ステージは、部員が選んだポップスのステージ。衣装や振付、小道具にも工夫を凝らして、「I will follow him」、「瑠璃色の地球」を歌いました。第3ステージは、O. イェイロ作曲「愛といつくしみの

あるところ」、J. ランブレヒツ作曲「天使のミサ曲」を音楽部員らしい透明感のある声で歌いました。

少人数の編成ではありましたが、中学生4人（現高1）の力も得ることで、演奏会を無事終えることができました。これからも一つ一つのステージを大切にしていきたいと感じました。

演奏会を行うにあたってアナウンスや照明、受付などで、今年も各クラブ等、生徒たちの協力を頂いたことと多くのお客様のご来場に心から感謝します。

(高校音楽部顧問)

ダンス・ミュージカル部 春の公演

4月16日（木）放課後、春の公演が行われました。高2だけで行う初めての公演で、不安なこともありましたが、スタッフや入部したばかりの高1のサポートもあって、約1時間全12曲を8名で踊りきりました。予想以上に多くの方が見に来られ、用意しておいたプログラムが不足するほどでした。曲に合わせて衣装や振り付けが工夫されており、会場も手拍子で盛り上げてくれました。平日にもかかわらず、たくさんの方のご来場どうもありがとうございました。

(ダンス・ミュージカル部顧問)

中学演劇部 春の公演「お姉ちゃんロボ」

中学演劇部は、4月18日（土）ゲーンホールにて、春の公演「お姉ちゃんロボ」（楽静 作）を上演しました。

中3は自分たちが最上級生となって初めての公演でした。台本決めから練習計画の立案、小道具・大道具の調達など、苦労したこともたくさんありましたが、中2と協力しながらなんとかやり遂げました。また、公演一週間前に演出を大きく見直したため、スタッフ・キャストともに当日ぎりぎりまで不安いっぱいでしたが、本番ではたくさんのお客様に来ていただき、部員たちも張り切っていつも以上のパフォーマンス

ンスをすることができました。公演後にお客様からお褒めの言葉や励ましの言葉をたくさんいただきました。心より感謝申し上げます。

まだまだ技術も演出も未熟なところがありますが、次の文化祭公演ではさらにパワーアップした公演となるよう、これからも練習に励んでまいります。

(中学演劇部顧問)

保健室だより (1)

健康診断が始まり、現在内科検診が学年ごとに進行中です。健康診断は自分の身体と向き合い見つめ直すいい機会です。健康なときこそ、自分の身体に関心を持ちましょう。異常が見つかった人は早目の受診をお勧めします。

本校の校医の先生方をご紹介します。

内科 (中学) 松尾信孝先生

(高校) 岩本恵子先生

眼科 加藤登喜子先生

耳鼻科 守屋隆先生

歯科 長澤和彦先生

学校薬剤師 山下潤子先生

新学期が始まったばかりで緊張や疲れが溜まりがちです。時間を上手に配分して、早寝・早起き・朝ごはんを心がけましょう。

この一年、みなさんが、健康で楽しい学校生活が過ごせるようサポートしていきたいと思えます。(保健室)

心の健康 (1)

新学期という新しい環境に神経を使いながら過ごしてきて1カ月が経ちますが、ストレスの多い日々だったと思います。5月は環境に慣れてきて緊張が解け始め、こういう時に心と身体の疲れが入り交じって、いろいろな症状が出てきやすいのです。例えば、「イライラ」したり、「ブルーな気分」になったりしがちです。または、「夜、眠れない」や「頭痛・胃痛・肩こり」などの体調不良になったりします。

分からないことや心配事など、何かあったら思い切って人に話してみましょ。解決できなくても、話すことで気持ちは楽になるものです。



(カウンセラー)

保護者対象 部活説明会のお知らせ

今年度も、運動部・毎日活動する部を中心として、各部部員の保護者を対象に、活動内容等に関する説明会を開催します。時間・場所等の詳細については、後日各部顧問から生徒を通して連絡があります(「未定」の部も同様です)。保護者の皆様はぜひご出席下さい。

中学バレーボール…6月6日(土) 午後
体育館2階と中学校2-1教室

中学バスケットボール…未定(昨年度は
6月中旬でしたが、大会結果により変動
します)

中学卓球…6月20日(土)
14:00~15:00 中学校3-2教室

中学新体操…7月29日(水)
11:00~ 中学3階被服室

中学ソフトテニス…6月6日(土)
13:30~14:30 中学校2-2教室

中学剣道…6月中旬予定

中学ソフトボール…5月23日(土)
15:30~16:10 中学校2-3教室

中・高マンドリン…6月6日(土)
14:00~15:00 中学校2階講義室
※高校生保護者の方も対象

中・高吹奏楽…5月30日(土)
13:00~14:30 中学校2階講義室
※高校生保護者の方も対象

中学演劇…6月26日(金)
16:00~17:00 中学校2階講義室

(中学生徒会顧問)

生徒の活躍

《中学》

日本英語検定協会より「優秀団体賞」を受賞しました。昨年度、第2回実用英語技能検定に於いて多数の合格者と優秀な成績を収めたことによるものです。

《高校》

◇卓球部

* 第68回広島県高校総体広島地区予選大会
卓球女子学校対抗の部 第5位

◇剣道部

* 平成27年度広島地区春季総合体育大会兼
第61回中国高等学校剣道選手権大会広島
地区予選会 団体第3位

◇その他

* 2015年度ユニタール青少年大使プログラ
ムの青少年大使に M・A(2-A)さんが
任命されました。

教職員の動向

◇今年度の新任の先生は次の方々です。

《教員》

末本 律子 (地公)
和田 知亜紀 (理科)
竹林 拓也 (理科)
久保 光章 (数学)
畑野 喜信 (英語)

《講師》

黒川 麻実 (国語)
小川 征児 (地公)
吉田 祥子 (数学)
中平 隆夫 (理科)
花野 靖代 (理科)
本多 美智子 (保体)
桜木 真弓 (英語)
杉原 秀伸 (英語)
フィッシャー ジョナサン (英語)
スミス フロレンス (英語)
今西 一太 (英語)
玉井 杏奈 (情報)
ジェイコブズ ロバート (G I)

○4月22日に事務室の尾首涼子さんに女兒が誕生されました。おめでとうございます。遥子(はるこ)ちゃんです。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

今月の聖句

わたしたちは、いつもあなたがたのために祈り、私たちの主イエス・キリストの父である神に感謝しています。

(コロサイの信徒への手紙1章3節)

女学院の中学校では1日の終わりに日直の祈りに合わせてクラスのみんなで祈ります。

「今日も一日無事に過ごせてありがとうございます」「部活や帰り道の安全をお守りください」だれかが声に出してそう言ってくれること、そのことに私たちは毎日守られていると思います。形式でも声に出すというのは不思議な力がある、これはキリスト教だけのものではなく、むしろこの日本に古くから伝わる考え方です。言葉には命が宿る。

大きな災害が起こるたびに私たちは普通のありがたさを痛感します。感謝の言葉は普段から声に出すことに慣れている方がいいと思います。神さまに感謝、という形をとって、まわりに、お父さんに、お母さんに、おばあちゃんに、お姉さんに、友達にありがとう、と言ってもいい、と私は思っています。

(4月10日 中学放送礼拝

国語科Y.E先生の礼拝より)

(聖書科T.M)

5月行事予定表

1	金	水曜授業 7限 中学行進練習
2	土	45分授業 4限 高校行進練習
3	日	憲法記念日 高3模試(進研記述)
4	月	みどりの日
5	火	こどもの日
6	水	振替休日
7	木	中3内科検診(5・6限呼び出し)
8	金	40分授業 6限まで 体育大会準備
9	土	体育大会(雨天順延の場合は、休業日)
10	日	体育大会予備日
11	月	振替休日(体育大会) 高3駿台全国模試(希望者) 体育大会中止の場合は月曜授業
12	火	
13	水	
14	木	高1内科検診(5～7限呼び出し) 尿検査
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	中1内科検診(5・6限呼び出し)
19	火	
20	水	地区会顔合わせ会(昼休み)
21	木	高2内科検診(5～7限呼び出し)
22	金	
23	土	参観日 PTA総会 (午後)学級懇談会
24	日	
25	月	
26	火	中間テスト(高1、2、3) 高1各種テスト
27	水	(中1、2、3) 1限8:55～ 15分休憩
28	木	1限8:55～ 15分休憩
29	金	1限8:55～ 15分休憩 中1各種テスト
30	土	
31	日	



高1合宿(グリーンピアせとうち)



中1合宿(グリーンピアせとうち)

